

ELSJ Newsletter No. 132 (2018年9月15日)

編集・発行所 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 研究社英語センタービル
 (Email: ejimu@elsj.org 電話/FAX: 03-5261-1922 ホームページ: <http://www.elsj.org>)
 一般財団法人 日本英文学会 代表者 原田 範行

会長挨拶

6月には大阪北部地震、7月には西日本豪雨が
あり、また7月から8月にかけては例年にない全
国的な猛暑に見舞われましたが、会員の皆様にお
かれましてはいかがお過ごしでしょうか。安定し
た研究教育活動を継続しておられることを心より
願うばかりです。

さる5月19日(土)、20日(日)の両日、日本英
文学会第90回大会が東京女子大学で開催され、
40の研究発表と12のシンポジウム、さらには特
別シンポジウムや懇親会、書店展示などが行われ、
活発な研究交流、情報交換がなされました。大会
の成功は、登壇者の方々が発表された優れた研究
成果はもちろんのこと、開催校委員、そして大会
準備委員、支部委員、事務局の方々の多大なご尽
力によるものです。ここに改めて厚く御礼を申し
上げます。来年2019年の全国大会は、5月25日
(土)、26日(日)の両日、広島県の安田女子大学
で開催されます。充実した研究交流が展開されま
すよう祈念致しますとともに、大会準備を進めて
おられるみなさまにはどうぞよろしくお願い申し
上げます。

2018年は、第一次世界大戦終結からちょうど
100年、明治維新からは150年にあたり、近・現
代社会の推移と文学のあり方を考える節目の年に
あたると言えるかも知れません。折から、国内で
は、英語教育や大学入試をめぐる各種の変更が進
みつつあります。英文学、米文学、英語学、英語
教育を柱に広く文学・文化研究を包摂する本学会
は、今、改めて、そうした研究や教育の特質とそ
の意義を探究し、またその優れた価値を発信して
いくことが求められているのではないかと思います。
日本英文学会は、会員のみなさまのそうした豊かな
研究・教育活動によって育てられ、またそうした
活動をあくまでもしっかりと支える場であり続け
たいと考えています。忌憚のないご意見やご要望
なども、ぜひお寄せいただければ幸いです。みな
さまのお力添えを、引き続き、よろしくお願

申し上げます。

理事会および評議員会議事録から

東京女子大学での全国大会の前日(5月18日)
に理事会および評議員会が開催されました。主要
な議案は以下の通りです。

1. 2017年度事業報告
2. 2017年度編集委員会活動報告
3. 2017年度大会準備委員会活動報告
4. 2017年度決算報告
5. 2018年度予算確認
6. 2019年度大会開催校の決定
7. 2020年度大会開催支部の確認
8. その他

*なお上記、事業計画、予算、事業報告、決算
報告は詳細を学会ホームページ「情報公開」
欄でご覧いただけるようになっています。

「8. その他」中の主な議案は以下の通りです。

- (1) 大会期間中の託児所開設について——第90
回大会においては、開催校のご尽力により託
児施設が開設され、2名が利用予定であるこ
とが報告されました。大会における託児所開
設は定着してきていますが、開催校の都合に
より開設されないこともあることが確認され
ました。
- (2) 『大会プロシーディングズ』のPDF化と冊子
体の廃止について——以前よりの検討課題で
あった、『大会プロシーディングズ』のPDF
化と冊子体の廃止について本格的に検討を開
始することになりました。
- (3) 『大会プロシーディングズ』の「言語メディア」
に関する規定について——『大会プロシーディ
ングズ』の案内の文言中に、「言語メディア
の変更(発表は日本語だが、原稿は英語など)
やタイトルの変更などは原則として認められ
ませんが、分野上必須であるなどやむを得な
い理由で言語メディアを変更する場合は、タ

イトルの直後に発言言語を明記(“presented in Japanese”などの文言を加える)してください」という一文をつけ加えることになりました。

- (4) 海外研究者招聘後援事業について——昨年度後半は日本コンラッド協会より申込があり、理事会での審議の上、規程にしたがい後援。今年度前半は応募者がなかったこと、および報告本年度上半期は期限(4月1日)までに申請がなかったことが、報告されました。なお「海外招聘後援事業規程」は学会ホームページ「情報公開」欄に掲載いたしております。

大会準備委員会からのお知らせ

◎委員の交代

本年7月1日をもって江田孝臣、加藤めぐみ、加藤洋介、高橋和子、縄田裕幸、吉川朗子の6氏が任期満了により退任しました。後任には、麻生えりか(青山学院大学)、齋藤安以子(摂南大学)、高橋美帆(関西大学)、藤巻明(立教大学)、宮原一成(山口大学)、柳朋宏(中部大学)の6氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は久野陽一氏、副委員長は不破有理氏です。

◎第90回大会の『大会Proceedings』発行

第78回大会から刊行がはじまった『大会Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表40件中25件(63%)、シンポジウム発表45件中20件(44%)、特別シンポジウム発表5件、総発表数90件中50件(56%)の論文をお寄せいただきました。また今回は、全7支部より93の原稿をいただきました(北海道3件、東北14件、関東16件、中部13件、関西18件、中国四国9件、九州20件)。ご寄稿ありがとうございました。なお、『大会Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められています。

◎第90回大会で発表された方へ

ご発表ありがとうございました。研究発表およびシンポジウムのいずれについても、参加者の方から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、大

会直後から、今からでもほしいという声が数多く寄せられました。著作権等の問題がない場合には、今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。すでに送っていただいた方のものは、掲載されております。これからでも掲載して下さる発表者の方はぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル(etaikai@elsj.org)でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第91回大会の開催日・開催校等

時 2019年5月25日(土)、26日(日)

所 安田女子大学

(広島県広島市安佐南区)

開催校委員 岡本由恵、高口圭輔(委員長)、Taras

Alexander Sak、島克也、田多良俊樹、中川憲

支部委員 今林修(広島大学)、大野英志(広島大学)、小野章(広島大学)、福元広二(広島修道大学)、水野和穂(広島修道大学)、吉中孝志(広島大学・委員長)

安田女子大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また全国大会担当支部である中国四国支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎第91回大会のシンポジウム企画の内定

第91回大会で行われるシンポジウムの企画が下記のように内定しました(敬称略。タイトルの変更の可能性あり)。第1～6部門は大会第1日(5月26日)、第7～12部門は第2日(同27日)にそれぞれ開催される予定です。

第1部門「初期近代文学空間としての書簡——公共と親密の間で」

司会・講師 水野 眞理(京都大学教授)

講師 井出 新(慶應義塾大学教授)

講師 富樫 剛(フェリス学院大学教授)

講師 福本 宰之(龍谷大学教授)

第2部門「詩人ウィリアム・モリスを読み直す」

司会・講師 川端 康雄(日本女子大学教授)

講師 関 良子(高知大学准教授)
 講師 虹林 慶(熊本県立大学教授)
 講師 横山 千晶(慶應義塾大学教授)

第3部門「アンチ教養小説と近代」(仮題)

司会・講師 川崎 明子(駒澤大学准教授)
 講師 中村 仁紀(大阪医科大学講師)
 講師 坂田 薫子(日本女子大学教授)
 講師 原 英一(東京女子大学教授)

第4部門「Literature is Ordinary?—20世紀の英文学と「ふつうの人びと」

司会・講師 近藤 康裕(慶應義塾大学准教授)
 講師 上野 直子(獨協大学教授)
 講師 大貫 隆史(東北大学准教授)
 講師 松永 典子(早稲田大学准教授)

第5部門「Kazuo Ishiguro's *The Buried Giant*と中世ブリテンの記憶を語る——中世英文学の系譜を21世紀に「受容する」とはどのようなことか?」

司会・講師 伊藤 壺(信州大学教授)
 講師 岡本 広毅(立命館大学准教授)
 講師 森野 聡子(静岡大学教授)
 講師 池園 宏(山口大学教授)

第6部門「日英語の削除構文を巡って」

司会・講師 阿部 潤(元東北学院大学教授)
 講師 坂本 祐太(中京大学講師)
 講師 瀧田 健介(明海大学准教授)
 講師 林 晋太郎(南山大学講師)

第7部門「アメリカとヒルビリーたち」(仮題)

司会・講師 越智 博美(一橋大学教授)
 講師 山根 亮一(東京工業大学准教授)
 講師 高村 峰生(関西学院大学准教授)
 講師 永富 真梨(同志社大学大学院生)

第8部門「大洋を越えるアメリカ女性詩人たち」

司会・講師 鵜野ひろ子(神戸女学院大学名誉教授)
 講師 喜多 文子(中央大学客員研究員)
 講師 上野 葉子(活水女子大学准教授)
 講師 高橋 綾子(長岡技術科学大学准教授)

第9部門「メルヴィルから、メルヴィルへ——環大西洋・太平洋的コンテクストとテクストをめぐる再読の試み」

司会・講師 西谷 拓哉(神戸大学教授)
 講師 藤本 幸伸(山口大学准教授)
 講師 澤入 要仁(立教大学教授)
 講師 貞廣 真紀(明治学院大学准教授)

第10部門「英語史およびドイツ語史における「社会」と「ひと」——近年の歴史社会言語学・歴史語用論の展開」

司会・講師 家入 葉子(京都大学教授)
 講師 高田 博行(学習院大学教授)
 講師 椎名 美智(法政大学教授)
 講師 佐藤 恵(獨協大学講師)
 講師 廣田 友晴(ブリティッシュコロンビア大学大学院生)

第11部門「倒置現象をめぐる」

司会・講師 松原 史典(高知大学教授)
 講師 野村 忠央(文教大学准教授)
 講師 高見 健一(学習院大学教授)
 講師 澤田 治美(関西外国語大学教授)

第12部門「文学を通じた「実践」教育」(仮題)

司会・講師 榎田 一路(広島大学准教授)
 講師 奥本 京子(大阪女学院大学教授)
 講師 小比賀美香子(岡山大学講師)
 講師 田中 賢司(海技大学校教授)

◎第91回大会招待発表

第91回大会の招待発表講師は次の各氏に決定しました(敬称略。50音順)。

安達 まみ(聖心女子大学教授)
 加藤 光也(東京都立大学名誉教授)
 高橋 勤(九州大学教授)
 田地野 彰(名古屋外国語大学教授)
 中川 僚子(聖心女子大学教授)
 舟川 一彦(上智大学教授)
 松田 隆美(慶應義塾大学教授)
 家口美智子(金沢大学教授)

◎第91回大会の特別シンポジウム企画

第91回大会で行われる特別シンポジウムの企画が下記のように内定しました(タイトルの変更の可能性あり。講師については調整中)。大会第

2日に開催される予定です。

「核の時代と文学研究」(仮題)

◎第91回大会研究発表の募集

第91回全国大会の研究発表を募集しております。学会のホームページ(<http://www.elsj.org>)上でご確認のうえ、奮ってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締め切りは11月1日(必着)です。

◎シンポジアムのアイデア募集について

シンポジアムのテーマに関する提言は随時受け付けておりますので、事務局(etaikai@elsj.org)までお寄せください。ただし、提案者は参加することはできませんのでご注意ください。寄せられたアイデアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジアムを企画立案する際の参考資料として活用します。

◎大会ワークショップについて

第86回大会よりワークショップが導入されておりますが、第91回大会には応募がありませんでした。応募要領は学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に掲載しておりますので、奮ってご応募ください。第92回大会(2020年開催)ワークショップの応募締め切りは、2019年4月末日です。

編集委員会からのお知らせ

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切が設定されておりますが、昨年9月1日締切の英文号には24本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切の和文号には16本の投稿論文が寄せられました。

◎第41回新人賞応募状況

第41回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切となりました。応募論文総数は、3篇(英文学0篇、米文学3篇、英語学0篇)です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は残念ながら、第一次銓衡を通過した論

文はなく、新人賞、佳作とも、該当論文なしということに決定いたしました。全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第95巻に掲載されません。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第95巻においては、残念ながら「該当論文なし」となりました。

事務局からのお願い・ご報告

◎今年度の大会について

5月19日(土)・20日(日)に東京女子大学にて開催された第90回全国大会は、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。シンポジアム、研究発表のいずれにおきましても活発な議論が展開されましたほか、特別シンポジウムでは、学会員に加えてフランス文学・哲学をご専門とする講師の方々にも加わっていただき、多くの参加者に強い感銘を与えていました。おかげさまで、大会は盛会のうちに終了いたしました。シンポジアム・研究発表・特別講演関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸しくださった関東支部の皆様に篤く御礼申し上げます。

◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしておりますように、来年の第91回大会は2019年5月25日(土)・26日(日)の両日に広島県の安田女子大学において開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった安田女子大学の皆様に心より御礼申し上げます。

例年通り、大会初日(5月25日[土])の夕刻には、会員の皆様にご参加いただく懇親会を予定しております。懇親会の予約方法につきましては、2019年3月刊行予定の『第91回大会資料』ならびに学会ホームページにて、あらためてお知らせいたします。

◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校のご尽力により、来年度全国大会期間中に、託児業者に委託する形で、大会会場内に託児

所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局にお問い合わせください。

◎会費納入と刊行物発送について

会費（一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円）を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会 Proceedings』に2年度分の会費振込用紙が同封されている方は、会費滞納が2年目になっています。今年度中に2年度分の会費の納入がなかった場合は、2019年3月末をもって会員資格を失うこととなります。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

なお、66歳以上の会員を対象とした終身会員制度を設けております。詳細につきましては、学会ホームページ掲載の「終身会員規程」をご覧ください。また、事務局までメール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどでお尋ねください。

◎会員著書案内について

2012年4月より、会員の皆様から事務局宛てにご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を掲載できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。掲載期間は、出版から2年間です。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。

掲載をご希望の方は、以下の情報を事務局までメール(ejimu@elsj.org)で、WORDの添付ファイルにてお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

この会員著書案内欄には、2018年7月末の時点で22冊が紹介されております。ぜひご覧ください。

◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しています。詳細は学会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞふるってご応募ください。応募する団体は申請書類を事務局宛てメール(ejimu@elsj.org)にてお送りください。

◎次回のNewsletterについて

次回のNewsletterは、2019年3月中旬刊行予定の『第91回大会資料』の巻末に掲載される予定です。それまでの間にお知らせすべき情報は、随時、学会ホームページに掲載いたしますので、定期的な確認をお願いいたします。

◎その他

本年5月末をもって、前任の山口和彦事務局長、若林麻希子編集担当書記、本多まりえ大会準備担当書記が退任されました。それぞれのご所属大学での研究教育業務が多忙を極めるにもかかわらず、英文学会の運営のために献身的にご尽力いただきました。また、膨大な業務と数々の困難に、非常に優れた判断力と粘り強さで対処してくださいました。あらためて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4月より新たに、岩田美喜(事務局長補佐)、張替涼子(編集担当書記)、西原貴之(大会準備担当書記)の3名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に異動となりました佐藤和哉、昨年度より引き続き会計を担当する深谷素子、ウェブを担当する倉林秀男とともに、6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の全国大会が終わる5月末までとなります。引き続き2名の有

能な事務職員に支えられ、原田範行会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと懸念しておりますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

日本英文学会事務局

佐藤和哉・岩田美喜・深谷素子・張替涼子・
西原貴之・倉林秀男

「2018年度大会資料支部統合版」 支部Newsletter

【北海道支部】

◎第63回大会予告

日本英文学会北海道支部第63回大会が、2018年11月3日(土)に北海道教育大学函館校(函館市八幡町1番2号)において開催されます。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加ください。また、懇親会出席への申込みもお待ちしております。詳細は本冊子所収のプログラムをご覧ください。

◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は、原則として電子メールを通して行っております。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしく願い申し上げます。

◎支部事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。
〒066-8655 千歳市美々758番地65
千歳科学技術大学理工学部 金井彩香研究室内
日本英文学会北海道支部事務局
[TEL/ FAX] 0123-27-6026
[メールアドレス] hokkaido@elsj.org
[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/>

(文責 金井彩香)

【東北支部】

◎第73回支部大会開催予告

第73回東北支部大会が、2018年12月1日(土)に、山形大学小白川キャンパス人文社会科学部1号館で開催されます。詳細については、この統合プログラムをご覧ください。なお、懇親会については、11月上旬を目処に東北支部会員の皆さまにご案内を別送する予定です。